

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	農林課(林務・自然保護担当)			
事務事業名	自然保護対策経費	事業番号	121	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分
				☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	4-2 自然保護の推進
	施策目標	恵まれた自然環境を守り自然と人とのふれあいを大切にする

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	根室市民、観光客を含む利用者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	①希少鳥類の保護増殖事業(生息地における繁殖条件の改善及び生息環境整備、生息地における監視等) ②明治自然環境保全区共同活動計画に基づく野鳥調査、自然観察会、植樹祭の開催等	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	①保護増殖計画に基づいた給餌、事故防止対策及び生息地における監視により、当市に生息する希少鳥類の自然状態での安定的な存続を図ることができる。 ②貴重な自然環境との共生を図るために、市民、企業、自然保護団体及び関係行政機関などと連携・協働による保護・保全活動を推進することにより、自然保護意識の高揚が図られ、自然資源の賢明な利用促進に繋がること期待される。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (R2)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	希少鳥類の保護増殖事業(衝突事故防止対策)への参加者数	5人	-	5人	新型コロナウイルス感染症対策により中止	9人	12人	-	15人
2	自然観察会(R3より実施)への参加者数	-	-	-		12人	20人	-	40人
3									
4									
事業費（＝下記内訳計）				R5予算		R5決算		R6予算	
				2,154		2,138		3,054	
内 訳	国庫支出金			266		276		266	
	地方債								
	その他			1,300		1,861		2,000	
	一般財源			588		1		788	
人員(人工)				0.17		0.17		0.17	
職員人件費（＝人員(人工)× 7,455 千円）				1,267		1,267		1,267	
総事業費（＝事業費＋職員人件費）				3,421		3,405		4,321	
単位コスト実績値 1（＝総事業費÷成果実績値）				285		283			
単位コスト実績値 2（＝総事業費÷成果実績値）				171		170			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☒ 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	近年、自然保護に対する市民の意識も高まっていることから、市民ニーズは高いと考える。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	希少鳥類の生息数の増加や、自然保護事業を通じて市民の自然保護意識の高揚が図られ有効に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 希少鳥類の保護増殖や貴重な自然環境との共生を図るため、市が主体となり、関係機関と連携を図りながら実施すべきものである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 事業内容の中で見直しを行う必要はない。ただし、関係団体とより一層の連携を図り、事業の充実に ついて検討することは可能と考える。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 毎年度、事業費については精査している。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 保護増殖計画に基づき、当市に生息する希少鳥類の自然状態での安定的な存続や貴重な自然環境との共生を図っているため、他の事業と統合できる可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 市が主体の事業であるため、受益者に負担をいただく可能性はない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☐ 現状のまま継続 ☒ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☒ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (R 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和6年9月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)		農林課(林務・自然保護担当)			
事務事業名		鳥獣被害防止対策事業		事業番号	12943
重点プロジェクト	■該当 □非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	4-2 自然保護の推進
	施策目標	自然と共生し優れた環境を未来へつなぐまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	根室市民
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	根室市鳥獣被害防止計画に定める対象鳥獣(エゾシカ、ヒグマ、ハシブトガラス・ハシボソガラス、キツネ、ラッコ、タヌキ、アライグマ)による各種被害防止のため、関係機関と連携・協働による各種被害防止施策を実施する。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	対象鳥獣による各種被害の未然防止や各種啓発活動を通じて、安全対策の強化を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (R4)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	チラシや広報誌、インターネット等の各種媒体を通じての通知	8回	-	-	10回	9回	10回	-	10回
2	エゾシカの有害駆除数(年間)	1,600頭	-	-	1,374頭	1,667頭	2,056頭	-	1,600頭
3	捕獲従事者数(銃器従事者証交付数)	40人	-	-	38人	34人	37人	-	45人
4									
事業費(=下記内訳計)				R5予算		R5決算		R6予算	
				8,885		11,197		14,090	
内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他			1,070		1,070		3,292	
	一般財源			7,815		10,127		10,798	
人員(人工)					0.25		0.25		0.25
職員人件費(=人員(人工)× 7,455 千円)					1,863		1,863		1,863
総事業費(=事業費+職員人件費)					10,748		13,060		15,953
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)					1,074		1,306		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)					5		6		
単位コスト実績値 3(=総事業費÷成果実績値)					290		352		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☒ 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	ヒグマの出没件数の急増やエゾシカによる各種被害等、対象鳥獣を起因とした産業活動や市民生活への影響・被害が多方面に及んでいることから、未然防止・被害の軽減対策を図るために、市民ニーズは高いと考える。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	対象鳥獣の駆除による個体数調整及び、市民周知による注意喚起を行うことで対象鳥獣に対する市民意識が高まり、各種事故や被害防止に繋がっている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 鳥獣被害は多方面に渡るため、市が主体となり、関係機関と連携した中で事業を実施する必要がある。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 捕獲体制の強化・効果的な捕獲方法などについて、随時、関係機関と検討し、精査しているところである。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 捕獲体制の強化・効果的な捕獲方法などについて、随時、関係機関と検討し、精査しているところである。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 野生鳥獣による被害防止対策事業であるため、受益者負担はない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (R 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和6年9月